

アンケート調査報告書

(案)

平成27年7月

目次

1 調査の概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査方法と回収結果	1
(3) 調査項目	1
(4) 留意点	1
2 調査結果	2
(1) 回答者の属性に関する調査結果	2
(2) 住みやすさに関する調査結果	5
① 住みやすさ意識調査	5
② 住みやすさの理由調査	6
③ 住みにくさの理由調査	7
(3) 精華町の魅力や誇れるものに関する調査結果	8
① 魅力や誇れるものに関する調査	8
(4) 精華町の今後のまちづくりに関する調査結果	9
① 子育てできる環境整備への取り組み調査	9
② 経済活性化のためのまちづくり調査	10
③ 若い人がいきいきと活動できる環境実現のための取り組み調査	11
(5) 精華町の現状に関する調査結果	12
① 人口の推計結果の認知度調査	12
② 人口減少に対する意見調査	13
③ 人口減少に伴う不安に感じる事調査	14
(6) 結婚・出産・子育てに対する考え方に関する調査結果	15
① 結婚・未婚の状態調査	15
② 結婚をしていない理由調査	16
③ 結婚を支援するための行政としての取り組み調査	18
④ 子育てに関するイメージ調査	19
⑤ 子どもの人数に関する調査	20
⑥ 理想とする子どもの人数が現在の子ども的人数より少ない理由調査	23
(7) 町の広報に関する調査結果	24
① 町行政が発信している情報の入手方法調査	24
② 町行政の発信情報に関する意見調査	25
③ 聞いたことのある精華町のキーワード調査	26
(8) 働く場所に関する調査結果	27
① 理想の勤務地調査	27
② 勤務地選択の優先順位調査	28
③ 就職や転職時の利用方法調査	29
(9) 転入に関する調査結果	30
① 転入時期調査	30
② 転入前の市町村調査	31
③ 転入のきっかけ調査	32
④ 転入の理由調査	33
⑤ 転入前の市町村と精華町の比較調査	34
(10) 自由意見	37
3 資料	41

1 調査の概要

(1) 調査の目的

①安定した雇用の創出、②地方へのひとの流れの創出、③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるための支援などにより、地域の活性化を目指す「精華町まち・ひと・しごと創生総合戦略（仮）」の策定にあたり、町民の町政に対する評価やニーズを統計的に把握することを目的として調査を実施しました。

(2) 調査方法と回収結果

①調査対象

平成 27 年 4 月 1 日時点における住民基本台帳から、満 18 歳以上の 2,500 人を無作為抽出しました。

②調査方法

調査票を郵送にて配布・回収しました。

③調査期間

平成 27 年 5 月

④回収結果

抽出数 (a)	有効回答数 (b)	有効回答率 (b/a)
2,500 件	952 件	38.1%

(3) 調査項目

- ①回答者の属性に関する質問
- ②住みやすさに関する質問
- ③精華町の魅力や誇れるものに関する質問
- ④精華町の今後のまちづくりに関する質問
- ⑤精華町の現状に関する質問
- ⑥結婚・出産・子育てに対する考え方に関する質問
- ⑦町の広報に関する質問
- ⑧働く場所に関する質問
- ⑨転入に関する質問

(4) 留意点

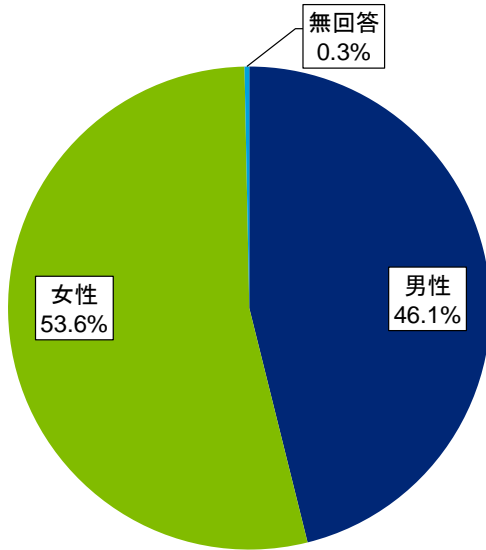
- ①結果は百分率で表示しました。百分率は小数第 2 位を四捨五入しているため、比率の合計が 100%と一致しない場合があります。
- ②複数回答可の質問の百分率の合計は、100%を超えます。住みやすさに関する質問結果
- ③二重回答や判読不能の回答などは、無回答に含めています。
- ④各質問のサンプル数は「n=」で表しています。

2 調査結果

(1) 回答者の属性に関する調査結果

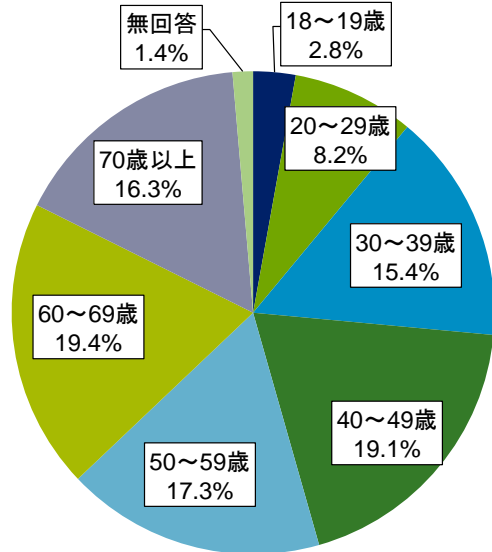
① 性別

性別 (N=952)



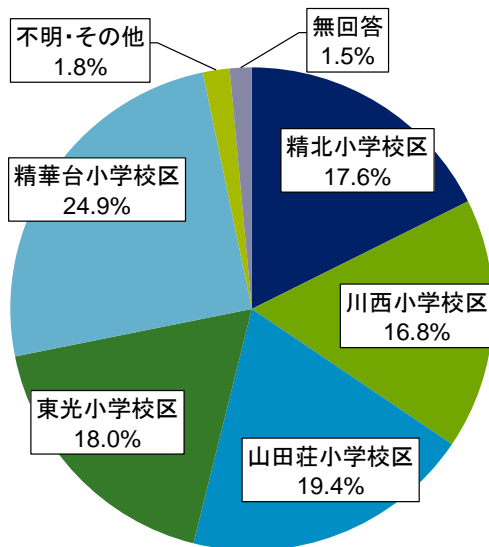
② 年齢

年齢 (N=952)



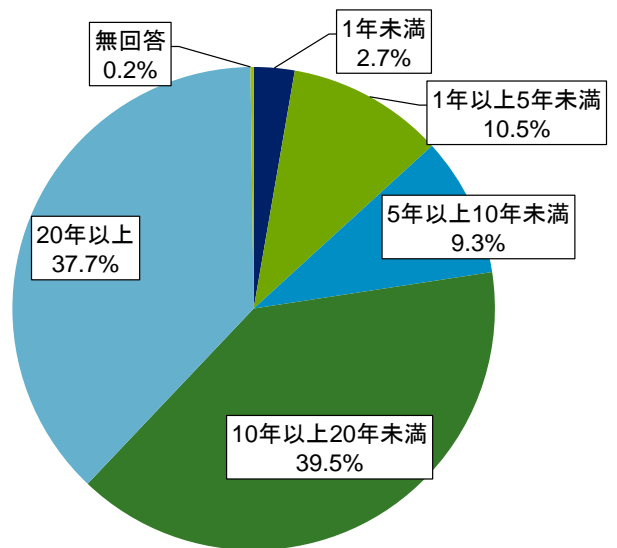
③ 居住地

居住地 (N=952)



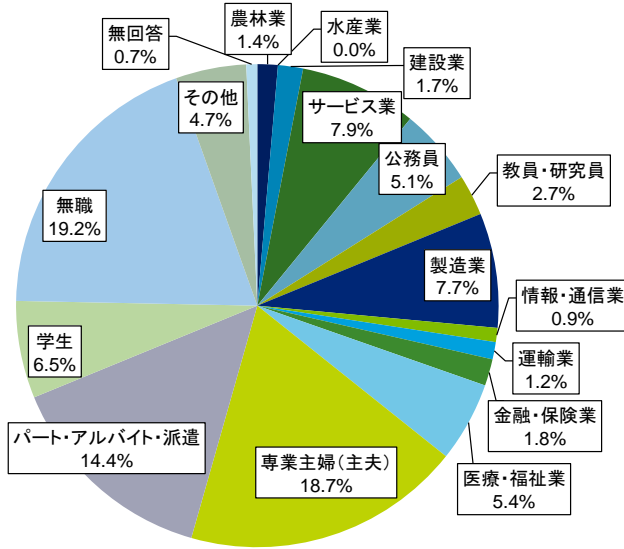
④ 居住年数

居住年数 (N=952)



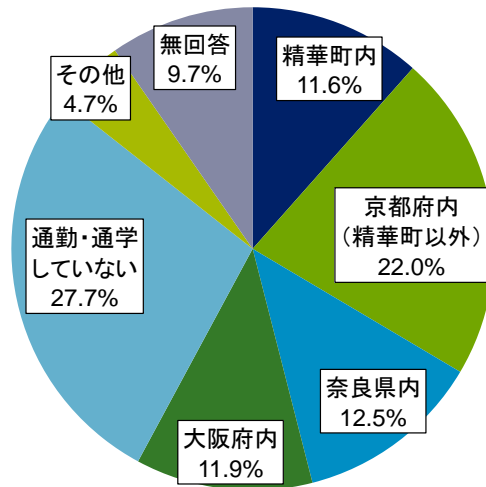
④ 職業

職業 (N=952)



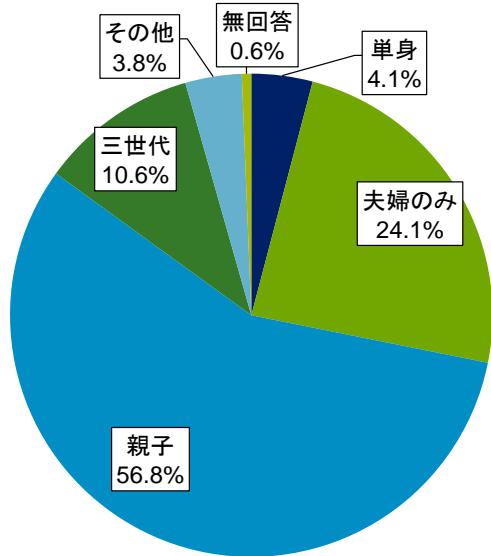
⑥ 通勤・通学の場所

通勤・通学 (N=952)



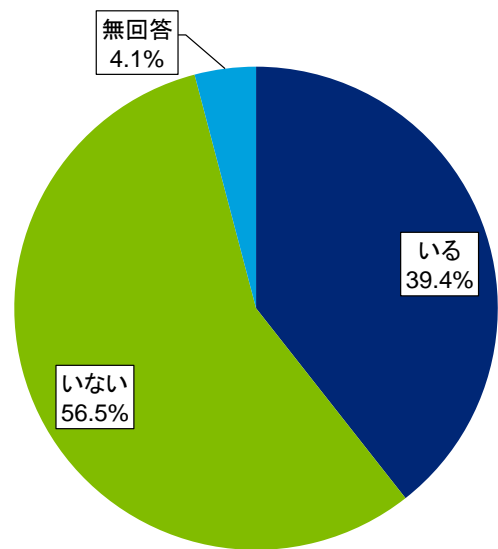
⑦ 家族構成

家族構成 (N=952)



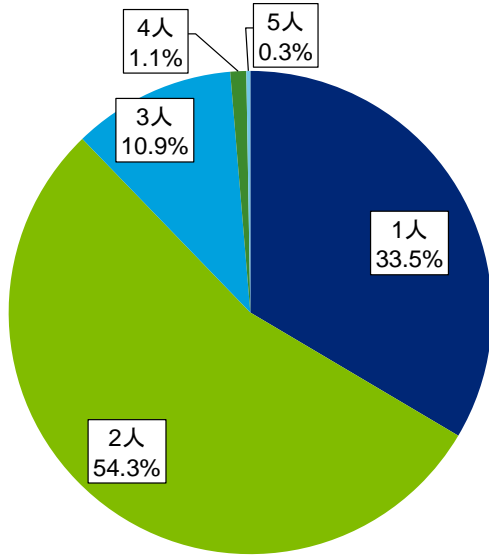
⑧ 養育中の子ども

養育中の子ども (n=376)



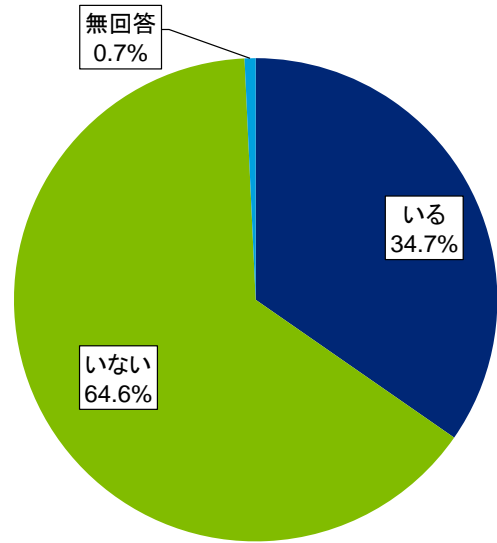
⑨ 養育中の子どもの数

養育中の子どもの数 (n=376)



⑧ 高齢者の同居家族

高齢者の同居家族 (N=952)

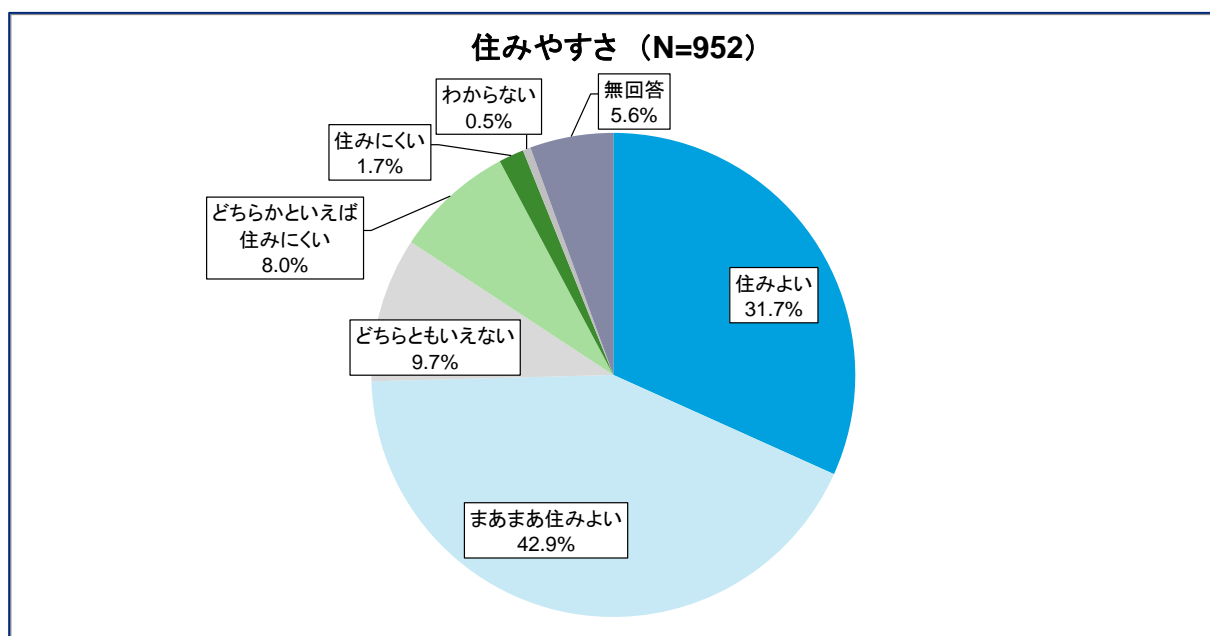


(2) 住みやすさに関する調査結果

① 住みやすさ意識調査

問 2

精華町の住みやすさについてどう思われますか？
あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。



選択肢	回答数	割合
住みよい	302	31.7%
まあまあ住みよい	408	42.9%
どちらともいえない	92	9.7%
どちらかといえば住みにくい	76	8.0%
住みにくい	16	1.7%
わからない	5	0.5%
無回答	53	5.6%
合計	952	100.0%

精華町の住みやすさ意識調査の結果、「まあまあ住みよい」と回答した人の割合が最も高く 42.9%となっています。

また、「住みよい」「まあまあ住みよい」を合わせると、回答者の 74.6%が住みよいと回答しています。

「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」を合わせると、回答者の 9.7%が住みにくいと回答しています。

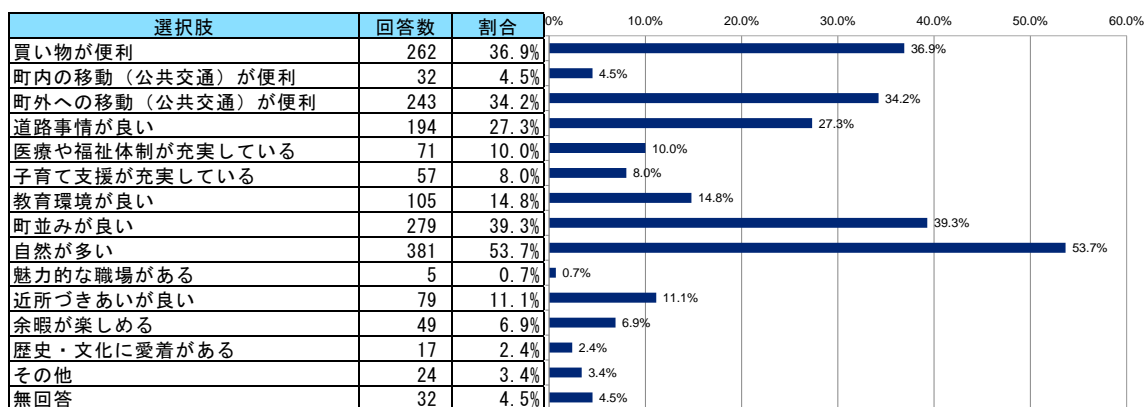
② 住みやすさの理由調査

問 3-1

「精華町が住みよい」と感じる理由は何ですか？

次の中から 3 つまで選んで番号に○をつけてください。

※該当者は問 2 で「住みよい」「まあまあ住みよい」と回答した人のみ



n=710

精華町の住みやすさの理由調査の結果、「自然が多い」と回答した人の割合が 53.7%と最も高いです。次いで、「町並みが良い」が 39.3%、「買い物が便利」が 36.9%、「町外への移動（公共交通）が便利」が 34.2%と続きます。

「自然が多い」と回答した人の割合と「町並みが良い」と回答した人の割合の差は 14.4%となっており、他の項目より大きくなっています。

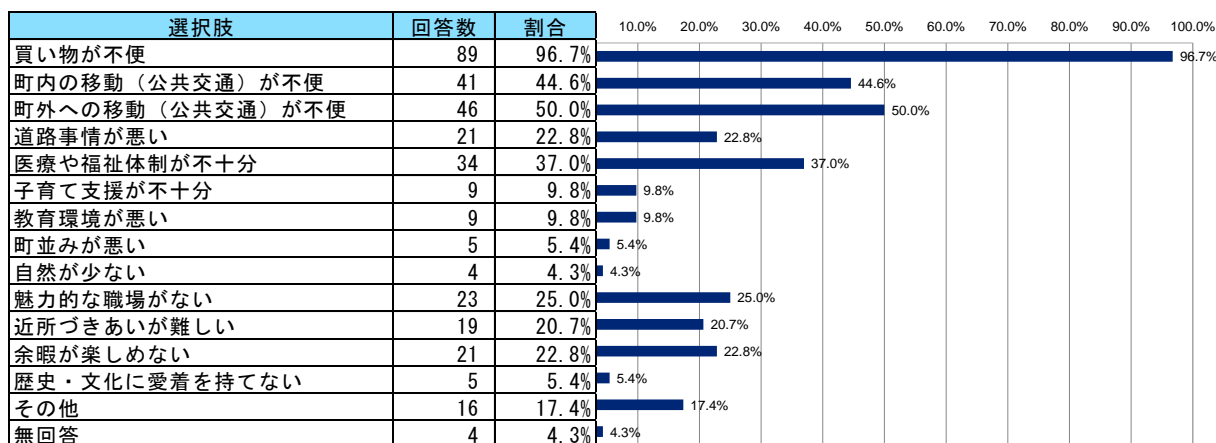
③ 住みにくさの理由調査

問 3-2

「精華町が住みにくい」と感じる理由は何ですか？

次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

※該当者は問2で「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」と回答した人のみ



n=92

精華町の住みにくさの理由調査の結果、「買い物が不便」と回答した人の割合が最も高く 96.7% となっています。次いで、「町外への移動（公共交通）が不便」が 50.0%、「町内への移動（公共交通）が不便」が 44.6%と続きます。

「買い物が不便」と回答した人の割合と「町外への移動（公共移動）」と回答した人の割合の差は 46.7%となっており、他の項目より非常に大きくなっています。

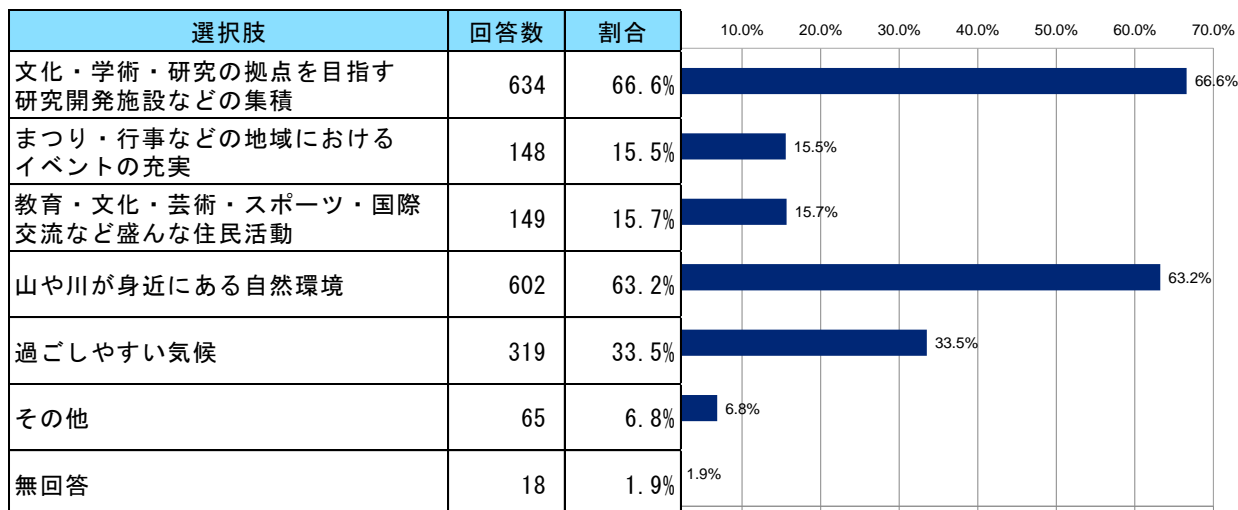
(3) 精華町の魅力や誇れるものに関する調査結果

① 魅力や誇れるものに関する調査

問 4

精華町の魅力や誇れるものは何だと思いますか？

主なものを3つまで選んで番号に○をつけてください。



n = 952

魅力や誇れるものに関する調査の結果、「文化・学術・研究の拠点をめざす研究開発施設などの集積」と回答した人の割合が66.6%と最も高いです。次いで、「山や川が身近にある自然環境」が63.2%、「過ごしやすい気候」が33.5%と続きます。

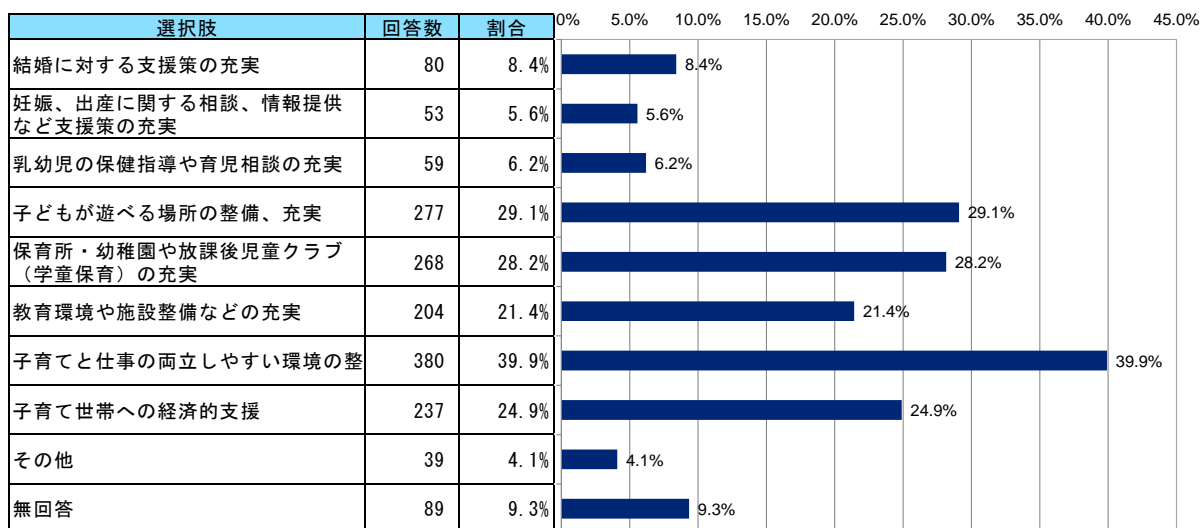
「文化・学術・研究の拠点をめざす研究開発施設などの集積」と回答した人の割合と「山や川が身近にある自然環境」と回答した人の割合の差は3.4%と上位2項目の差は5%以内に収まっています。

(4) 精華町の今後のまちづくりに関する調査結果

① 子育てできる環境整備への取り組み調査

問 5

安心して子どもを産み、子育てできる環境を整備するために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。



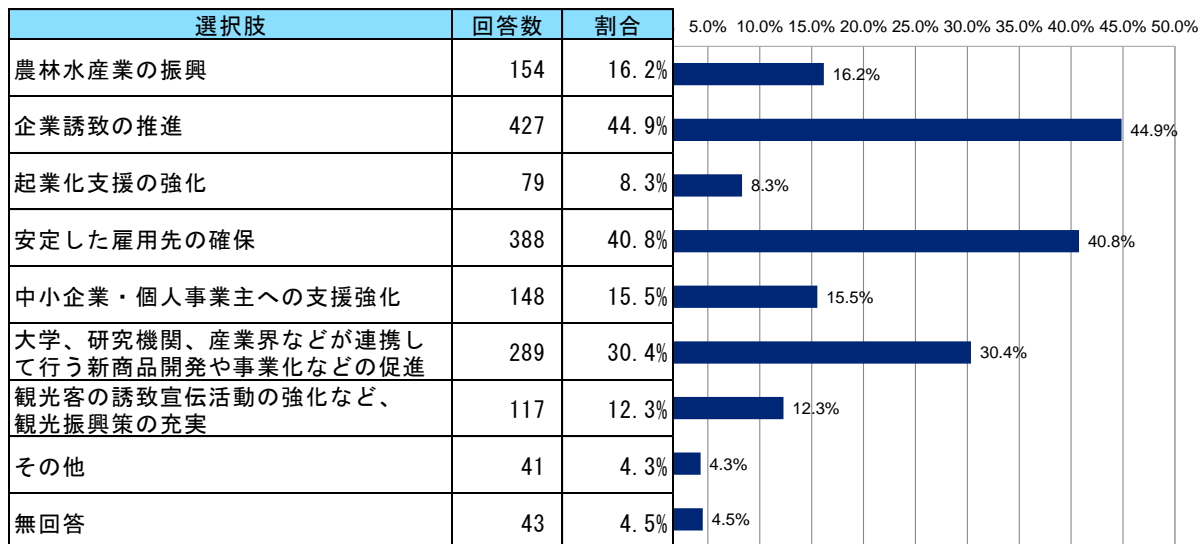
n = 952

子育てできる環境整備への取り組み調査の結果、「子育てと仕事の両立しやすい環境の整備」と回答した人の割合が39.9%と最も高いです。次いで、「子どもが遊べる場所の整備、充実」が29.1%、「保育所・幼稚園や放課後児童クラブ（学童保育）の充実」が28.2%、「子育て世帯への経済的支援」が24.9%、「教育環境や施設整備などの充実」が21.4%と続きます。

② 経済活性化のためのまちづくり調査

問 6

精華町の経済を活性化するために、どのようなまちづくりが必要だと思いますか？主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。



n = 952

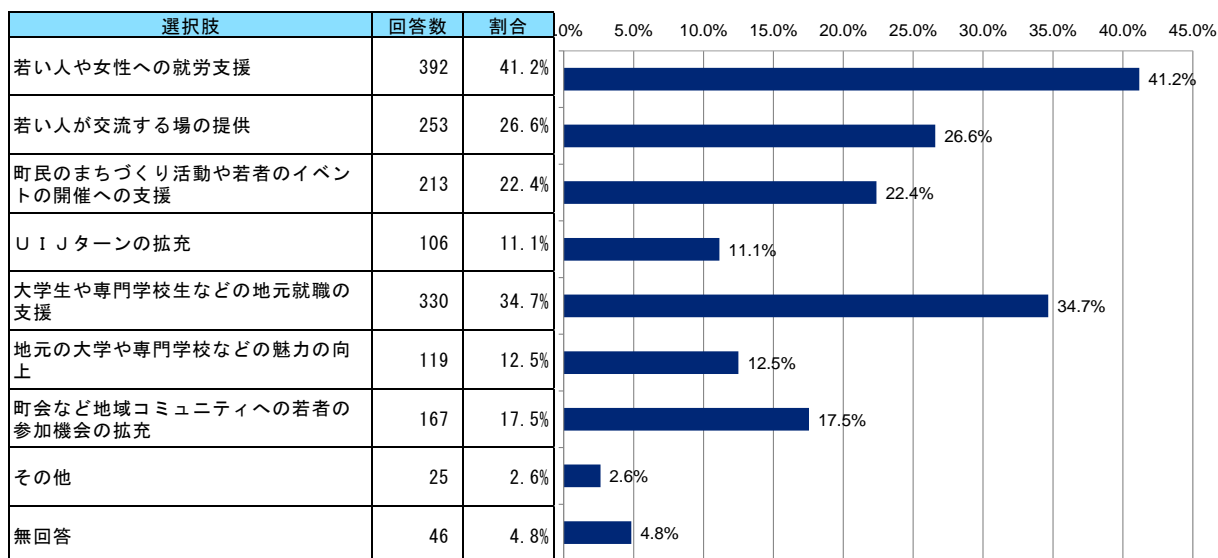
経済活性化のためのまちづくり調査の結果、「企業誘致の推進」と回答した人の割合が44.9%と最も高いです。次いで、「安定した雇用先の確保」が40.8%、「大学、研究機関、産業界などが連携して行う新商品開発や事業化などの促進」が30.4%と続きます。

「企業誘致の推進」と回答した人の割合と「安定した雇用先の確保」と回答した人の割合の差は4.1%と上位2項目の差は5%以内に収まっています。上位3つのまちづくりの選択肢と他のまちづくりの選択肢で大きな差が出ています。

③ 若い人がいきいきと活動できる環境実現のための取り組み調査

問7

若い人たちがいきいきと活動できる環境を実現するために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。



n =952

若い人がいきいきと活動できる環境実現のための取り組み調査の結果、「若い人や女性への就労支援」と回答した人の割合が41.2%と最も高いです。次いで、「大学生や専門学校生などの地元就職の支援」が34.7%、「若い人が交流する場の提供」が26.6%と続きます。

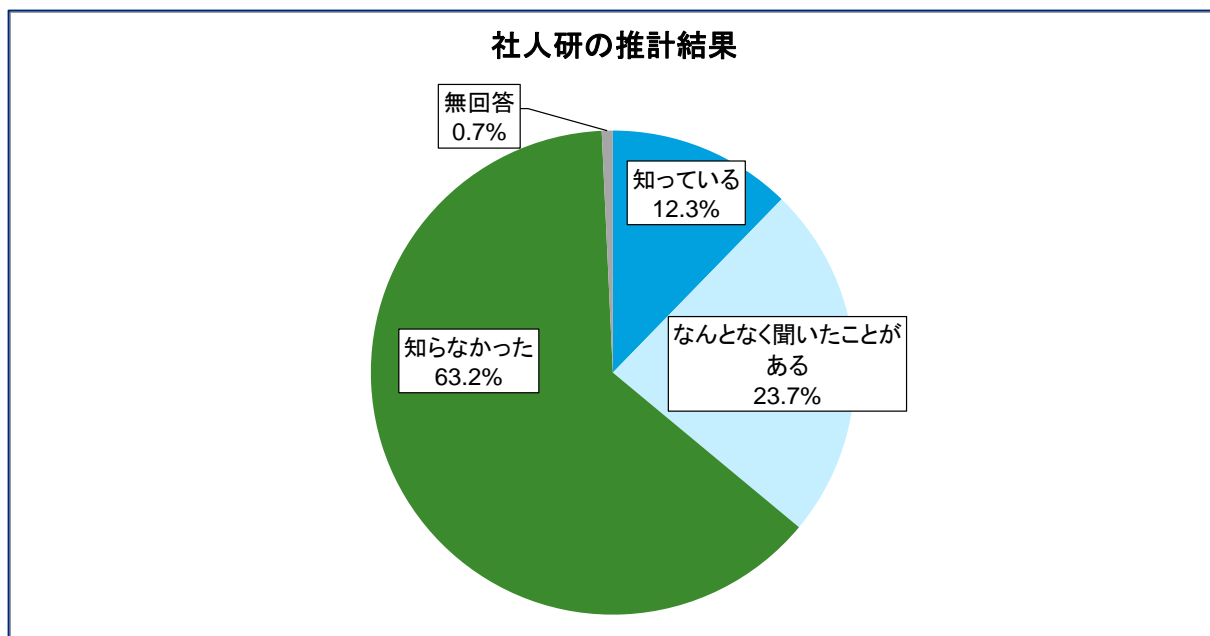
(5) 精華町の現状に関する調査結果

① 人口の推計結果の認知度調査

問 8

精華町の人口は 35,630 人（2010 年国勢調査時点）ですが、2025 年頃にピーク（37,048 人）を迎えた以降は減少していくと、国立社会保障・人口問題研究所の推計結果が公表されています。この推計結果をご存知ですか？

あてはまる番号を 1 つ選んで○をつけてください。



選択肢	回答数	割合
知っている	117	12.3%
なんとなく聞いたことがある	226	23.7%
知らない	602	63.2%
無回答	7	0.7%
合計	952	100.0%

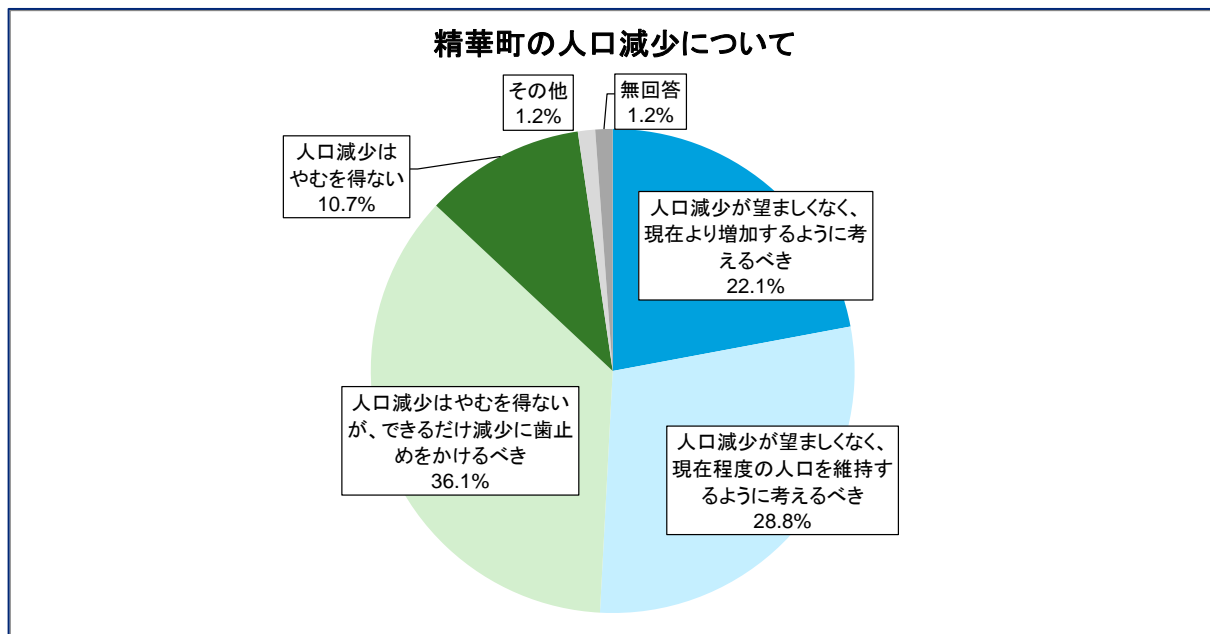
人口の推計結果の認知度調査の結果、「知らない」と回答した人の割合が 63.2%と過半数を上回っています。

なお、「知っている」と「なんとなく聞いたことがある」を合わせると、約 36%が認知しています。

② 人口減少に対する意見調査

問 9

精華町の人口が減少していくことについて、あなたの考えに近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。



選択肢	回答数	割合
人口減少が望ましくなく、現在より増加するように考えるべき	210	22.1%
人口減少が望ましくなく、現在程度の人口を維持するように考えるべき	274	28.8%
人口減少はやむを得ないが、できるだけ減少に歯止めをかけるべき	344	36.1%
人口減少はやむを得ない	102	10.7%
その他	11	1.2%
無回答	11	1.2%
合計	952	100.0%

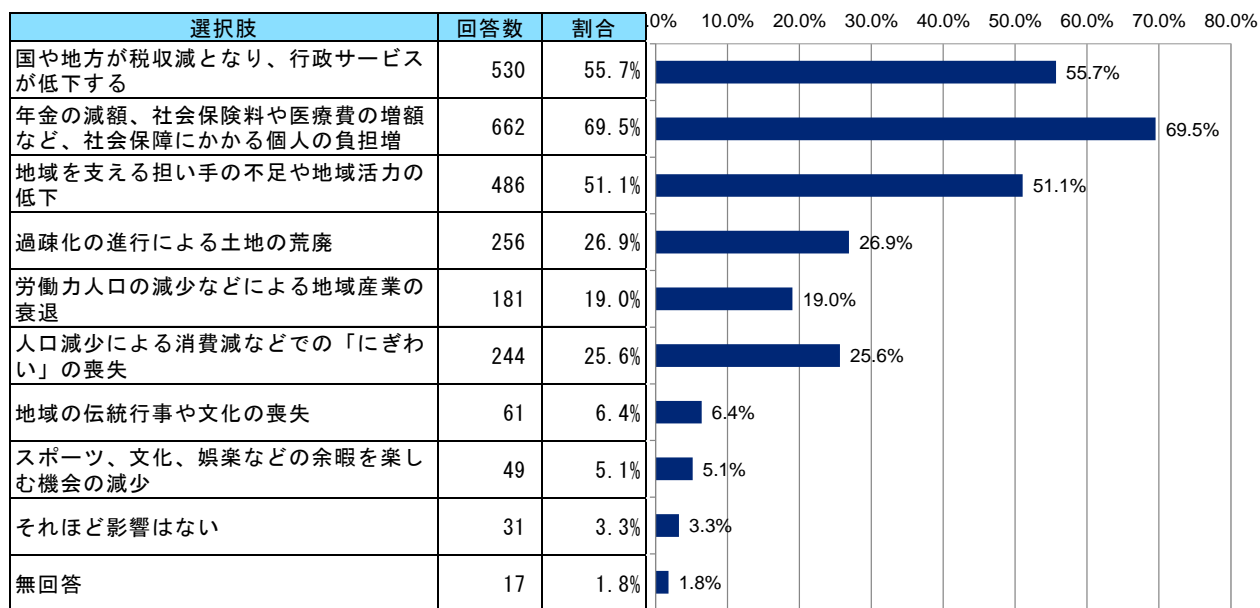
人口減少に対する意見調査の結果、「人口減少が望ましくなく、現在より増加するように考えるべき」と「人口減少が望ましくなく、現在程度の人口を維持するように考えるべき」と「人口減少はやむを得ないが、できるだけ減少に歯止めをかけるべき」を合わせると、約87%です。

一方、「人口減少はやむを得ない」と回答した人の割合は10.7%です。

③ 人口減少に伴う不安に感じる事調査

問 10

将来、精華町の人口減少が進行した場合に、あなたが不安に感じることを次のうちからあなたの考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。



n =952

人口減少に伴う不安に感じる事調査の結果、「年金の減額、社会保険料や医療費の増額など、社会保障にかかる個人の負担増」と回答した人の割合が69.5%と最も高いです。次いで、「国や地方が税収減となり、行政サービスが低下する」が55.7%、「地域を支える担い手の不足や地域活力の低下」が51.1%と続きます。上位3つの不安に感じる事と他の不安に感じる事で差が出ています。

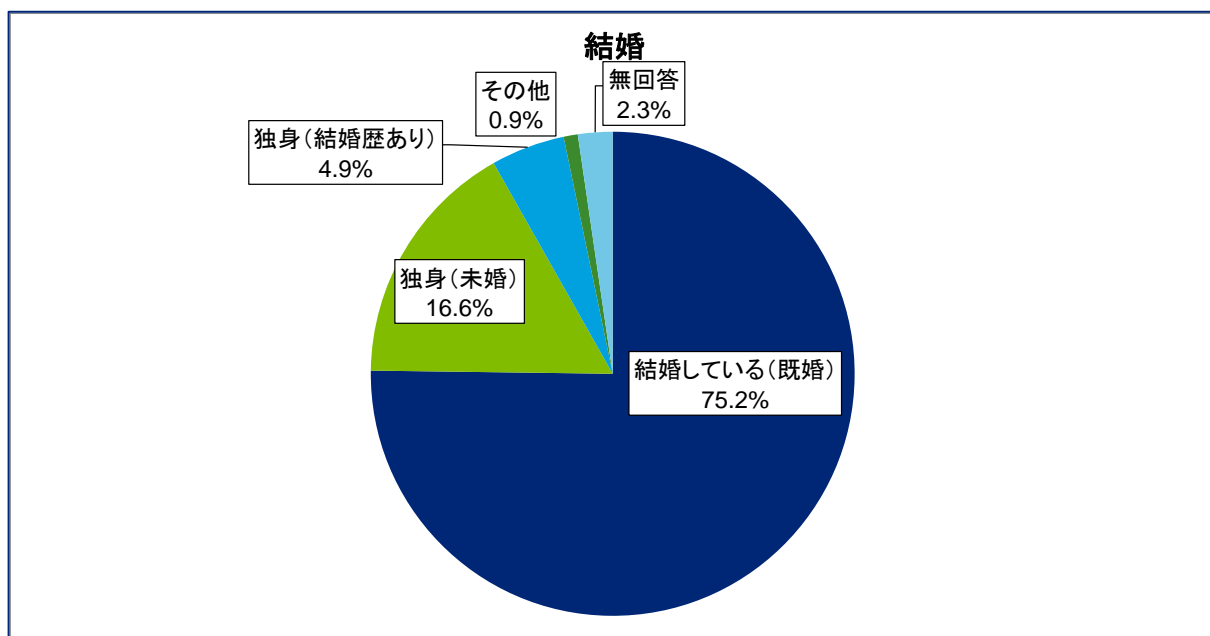
(6) 結婚・出産・子育てに対する考え方に関する調査結果

① 結婚・未婚の状態調査

問 11

あなたは、現在結婚していますか？

あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。



選択肢	回答数	割合
結婚している(既婚)	716	75.2%
独身(未婚)	158	16.6%
独身(結婚歴あり)	47	4.9%
その他	9	0.9%
無回答	22	2.3%
合計	952	100.0%

結婚・未婚の状態調査の結果、「結婚している(既婚)」と回答した人の割合が75.2%です。

「独身(未婚)」と「独身(結婚歴あり)」を合わせると、約21.5%が独身と回答しています。

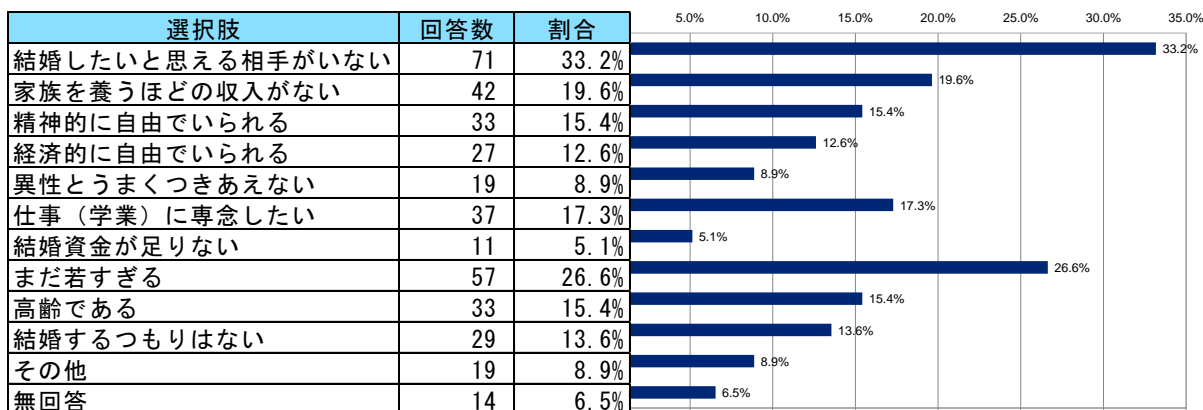
② 結婚をしていない理由調査

問 12

結婚をしていない理由は何ですか？

あなたの考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

※該当者は問 11 で「独身（未婚）」「独身（結婚暦あり）」と回答した人のみ



n=214

結婚をしていない理由調査の結果、「結婚したいと思える相手がない」と回答した人の割合が33.2%と最も高いです。次いで、「まだ若すぎる」が26.6%、「家族を養うほどの収入がない」が19.6%と続きます。上位2つの理由と他の理由と差が出ています。

i. 男女別

選択肢	男	女	無回答
結婚したいと思える相手がない	34.9%	32.3%	0.0%
家族を養うほどの収入がない	34.9%	9.4%	0.0%
精神的に自由でいられる	11.6%	18.1%	0.0%
経済的に自由でいられる	16.3%	10.2%	0.0%
異性とうまくつきあえない	10.5%	7.9%	0.0%
仕事（学業）に専念したい	20.9%	18.1%	0.0%
結婚資金が足りない	12.8%	3.1%	0.0%
まだ若すぎる	27.9%	24.4%	0.0%
高齢である	12.8%	15.0%	100.0%
結婚するつもりはない	8.1%	16.5%	0.0%
その他	7.0%	7.1%	0.0%
無回答	1.2%	10.2%	100.0%
回答者数 (n=)	86	127	1

男女別では、男女ともに「結婚したいと思える相手がない」と回答した割合が最も高い結果となっています。また、男性は「家族を養うほどの収入がない」と回答した割合が「結婚したいと思える相手がない」と回答した割合と同じ34.9%と女性の9.4%と比べて25.5%と大きな差が出ています。

ii. 年代別

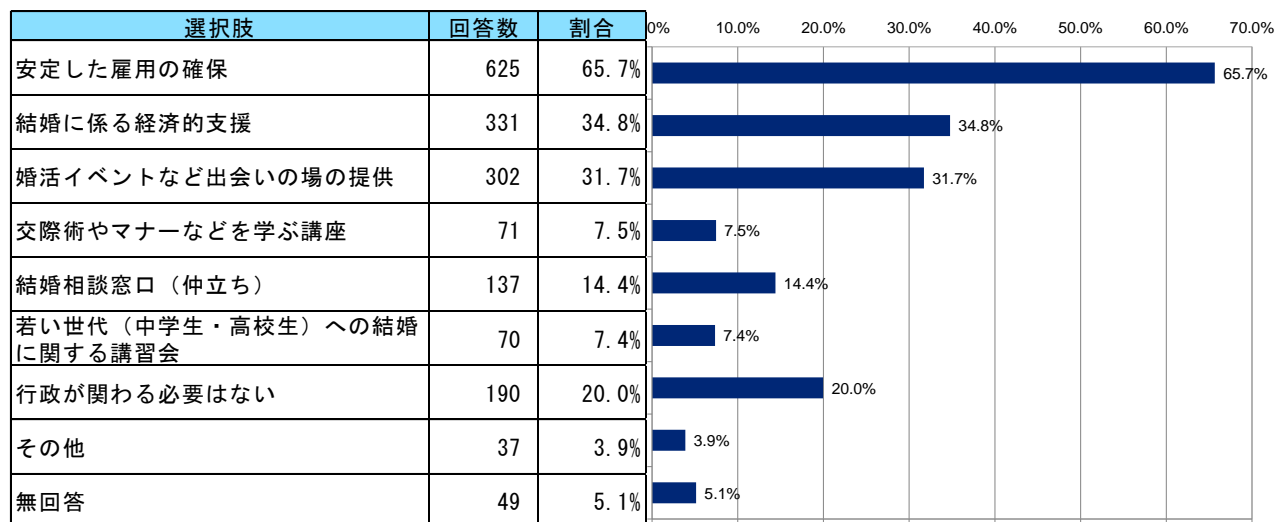
選択肢	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳以上	無回答
結婚したいと思える相手がない	7.7%	34.4%	64.9%	41.7%	21.7%	0.0%
家族を養うほどの収入がない	15.4%	18.8%	24.3%	37.5%	13.3%	0.0%
精神的に自由でいられる	3.8%	7.8%	24.3%	16.7%	23.3%	0.0%
経済的に自由でいられる	0.0%	15.6%	27.0%	12.5%	6.7%	0.0%
異性とうまくつきあえない	3.8%	9.4%	16.2%	8.3%	6.7%	0.0%
仕事（学業）に専念したい	38.5%	34.4%	8.1%	0.0%	1.7%	33.3%
結婚資金が足りない	3.8%	4.7%	10.8%	12.5%	0.0%	0.0%
まだ若すぎる	80.8%	54.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
高齢である	0.0%	0.0%	5.4%	8.3%	45.0%	33.3%
結婚するつもりはない	0.0%	4.7%	13.5%	29.2%	23.3%	0.0%
その他	7.7%	10.9%	10.8%	8.3%	6.7%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	18.3%	100.0%
回答者 (n=)	26	64	37	24	60	3

年代別では、20歳未満・20歳代では「まだ若すぎる」が、30歳代・40歳代では「結婚したいと思える相手がない」が、50歳以上では「高齢である」と回答した割合が最も高くなっています。

③ 結婚を支援するための行政としての取り組み調査

問 13

結婚を支援するために、行政としてどのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？あなたの考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。



n =952

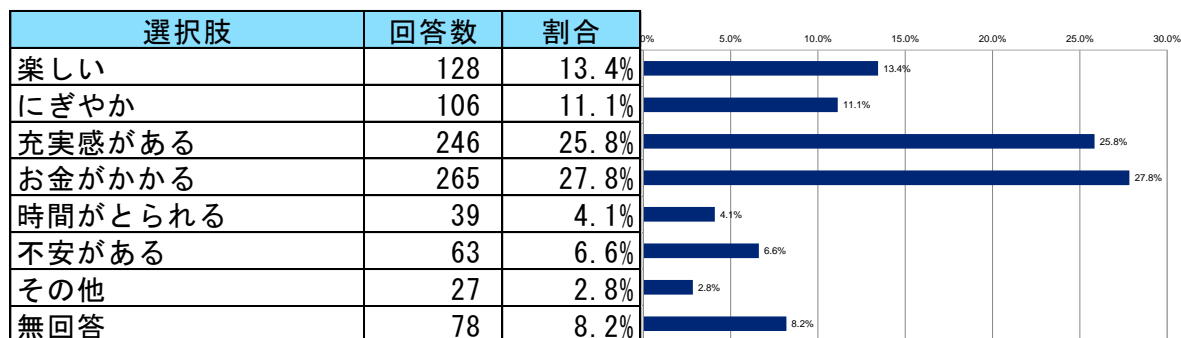
結婚を支援するための行政としての取り組み調査の結果、「安定した雇用の確保」と回答した人の割合が65.7%と最も高いです。次いで、「結婚に係る経済的支援」が34.8%、「婚活イベントなど出会いの場の提供」が31.7%と続きます。「安定した雇用の確保」と回答した人の割合と「結婚に係る経済的支援」と回答した人の割合の差は30.9%と「安定した雇用の確保」がと他の項目で非常に大きな差が出ています。

また、「行政が関わる必要はない」と回答した人の割合が20.0%です。

④ 子育てに関するイメージ調査

問 14

子育てについてどのようなイメージを持っていますか？
あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。



n =952

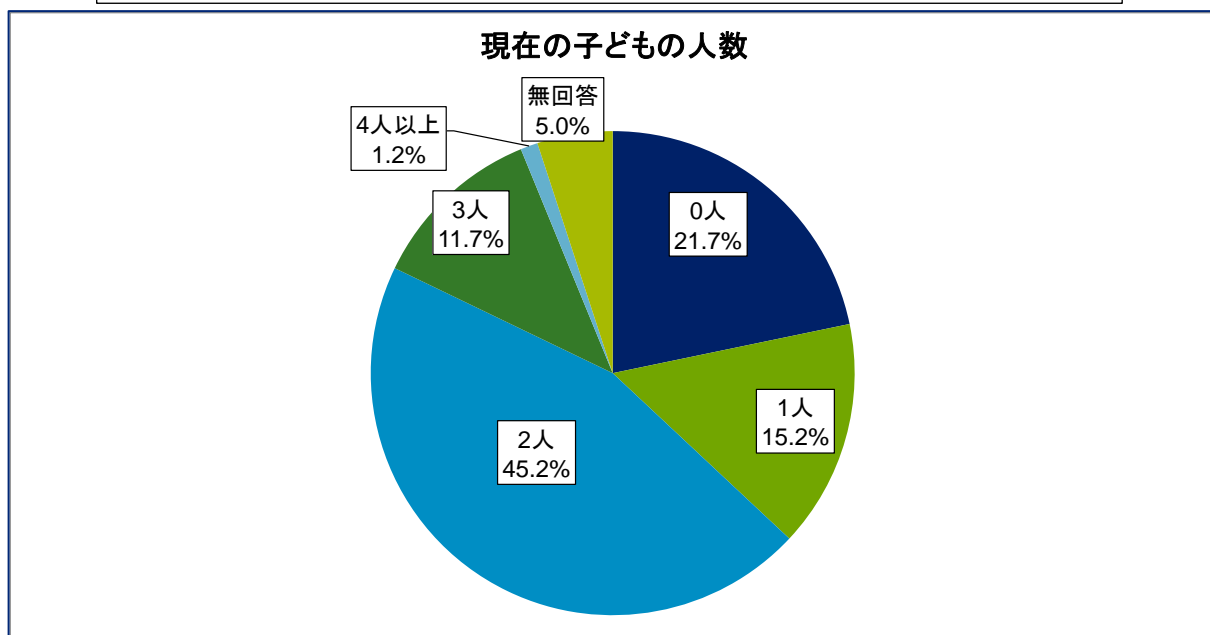
子育てに関するイメージ調査の結果、「お金がかかる」と回答した人の割合が 27.8%と最も高いです。次いで、「充実感がある」が 25.8%、「楽しい」が 13.4%、「にぎやか」が 11.1%と続きます。

「充実感がある」と回答した人の割合と「楽しい」と回答した人の割合の差は 2.0%と上位 2 項目の差は 5%以内に収まっていますが、他の回答と大きく差が出ています。

⑤ 子どもの人数に関する調査

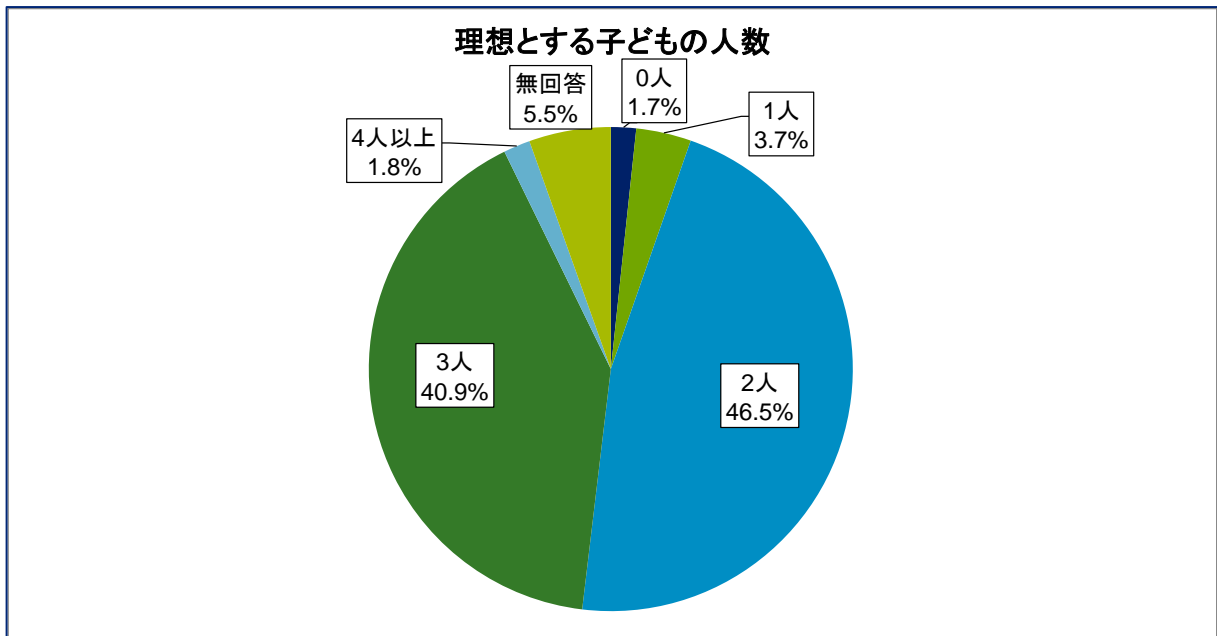
問 15

あなたの現在の子どもの人数、理想とする子どもの人数は何人ですか？
あてはまる番号をそれぞれ1つ選んで○をつけてください。



選択肢	回答数	割合
0人	207	21.7%
1人	145	15.2%
2人	430	45.2%
3人	111	11.7%
4人以上	11	1.2%
無回答	48	5.0%
合計	952	100.0%

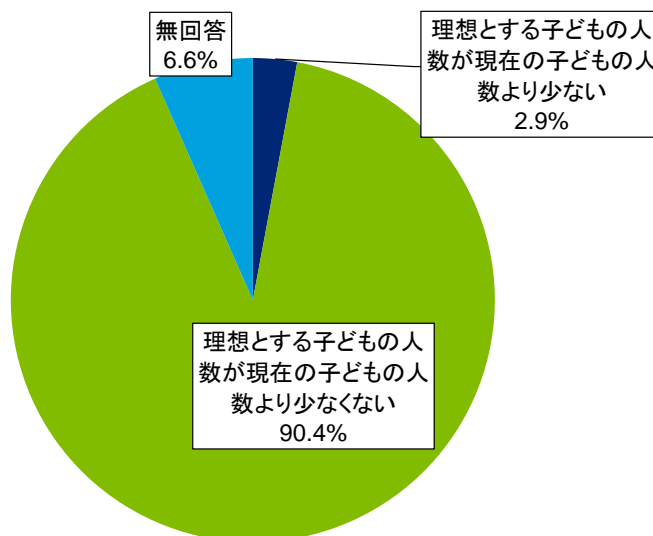
子どもの人数に関する調査の結果、現在の子どもの人数に関して「2人」と回答した人の割合が45.2%と最も高いです。次いで、「0人」が21.7%、「1人」が15.2%と続きます。



選択肢	回答数	割合
0人	16	1.7%
1人	35	3.7%
2人	443	46.5%
3人	389	40.9%
4人以上	17	1.8%
無回答	52	5.5%
合計	952	100.0%

子どもの人数に関する調査の結果、理想とする子どもの人数に関して「2人」と回答した人の割合が46.5%と最も高いです。次いで、「3人」が40.9%です。2人以上と回答した人の割合が高くなっています。

理想の子どもの人数が現在の子どもの人数より少ないかどうか



子どもの人数に関する調査の結果、理想の子どもの人数が現在の子どもの人数より少ないかどうかを見ると「理想とする子どもの人数が現在の子どもの人数より少なくない」との回答が90.4%です。一方、「理想とする子どもの人数が現在の子どもの人数より少ない」との回答は2.9%です。

⑥ 理想とする子どもの人数が現在の子ども的人数より少ない理由調査

問 16

「理想とする子ども的人数」が、「現在の子ども的人数」より少ない理由は何ですか？あなたの考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

※ああああああ

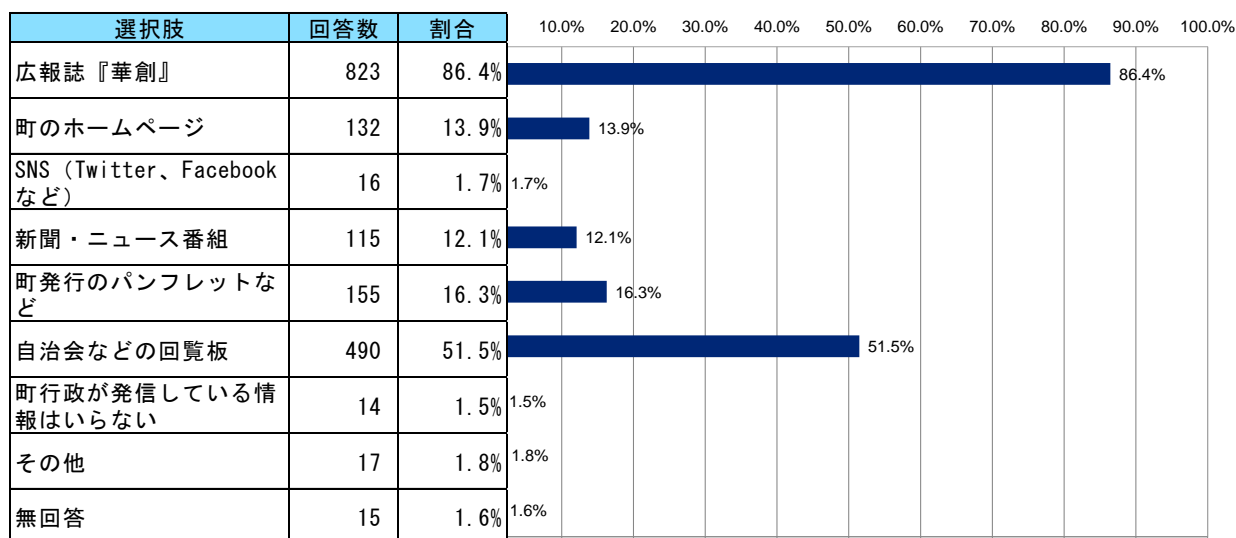
回答なし

(7) 町の広報に関する調査結果

① 町行政が発信している情報の入手方法調査

問 17

町行政が発信している情報の入手方法としてよく活用するものはどれですか？
(該当する番号全てに○)



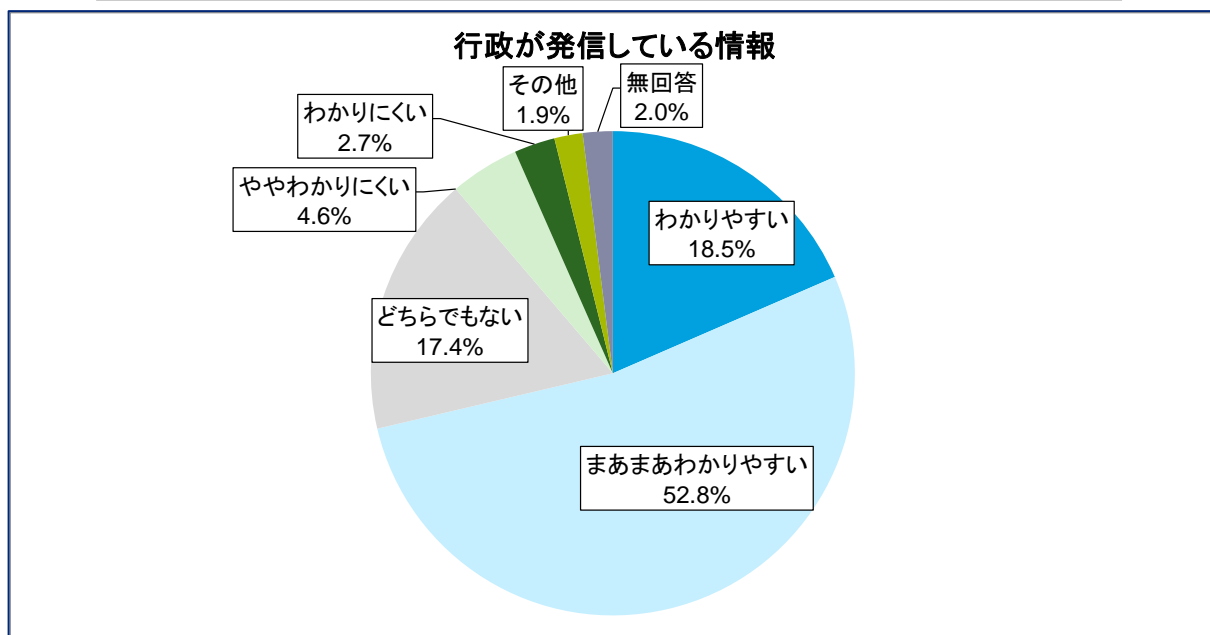
n =952

町行政が発信している情報の入手方法調査の結果、「広報誌『華創』」と回答した人の割合が 86.4%と最も高いです。次いで、「自治会などの回覧板」が 51.5%、「町発行のパンフレット」が 16.3%、「町のホームページ」が 13.9%です。「広報誌『華創』」と「自治会などの回覧板」以外で情報入手している人の割合は低いです。

② 町行政の発信情報に関する意見調査

問 18

町行政が発信している情報に関してどのように感じますか？
 あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。



選択肢	回答数	割合
わかりやすい	176	18.5%
まあまあわかりやすい	503	52.8%
どちらでもない	166	17.4%
ややわかりにくい	44	4.6%
わかりにくい	26	2.7%
その他	18	1.9%
無回答	19	2.0%
合計	952	100.0%

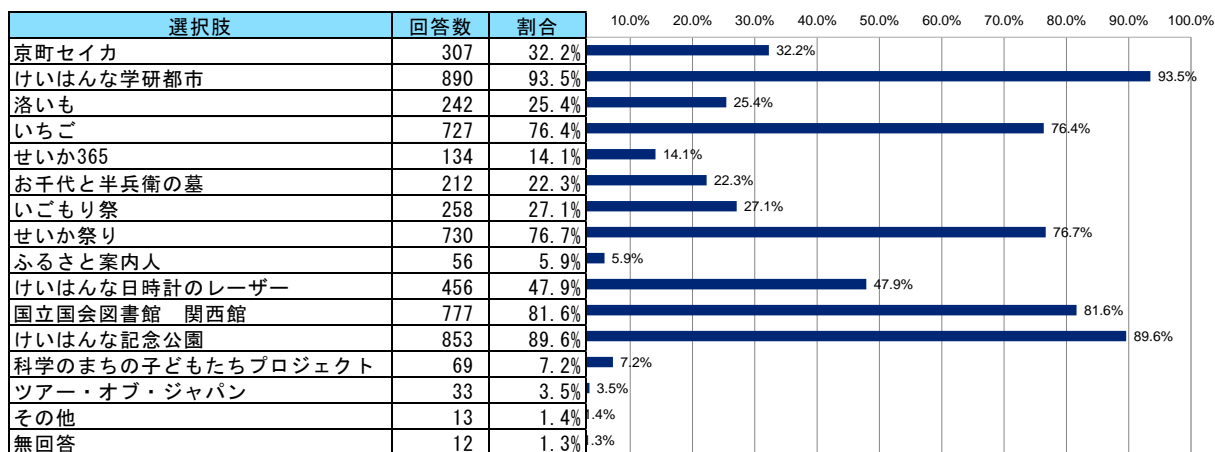
町行政の発信情報に関する意見調査の結果、「まあまあわかりやすい」と回答した人の割合が52.8%と最も高いです。「わかりやすい」と「まあまあわかりやすい」を合わせると、回答者の71.3%がわかりやすいと回答しています。

一方、「わかりにくい」と「ややわかりにくい」を合わせると、回答者の7.3%がわかりにくいと回答しています。

③ 聞いたことのある精華町のキーワード調査

問 19

あなたがこれまでに聞いたことのある精華町に関連するキーワードはどれですか？あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。



n = 952

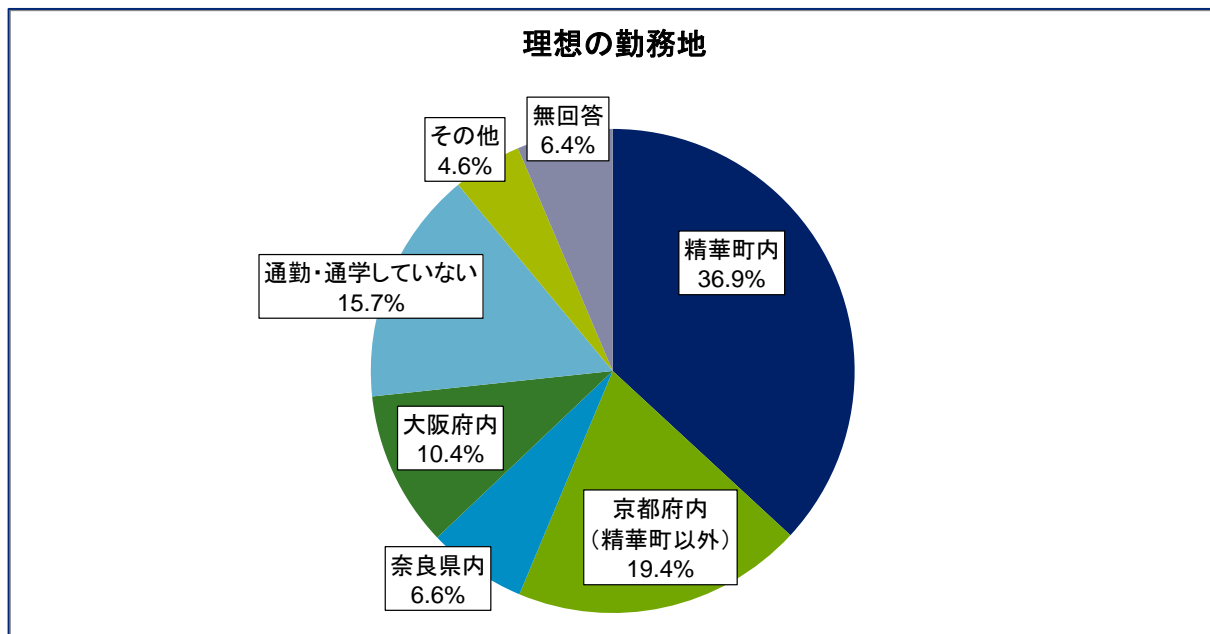
聞いたことのある精華町のキーワード調査の結果、「けいはんな学研都市」と回答した人の割合が93.5%と最も高いです。次いで「けいはんな記念公園」が89.6%、「国立国会図書館関西館」が81.6%、「せいか祭り」が76.7%、「いちご」が76.4と続きます。上位5つのキーワードと他のキーワードとで大きな差が出ています。

(8) 働く場所に関する調査結果

① 理想の勤務地調査

問 20

あなたは、理想の勤務地はどこですか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。



選択肢	回答数	割合
精華町内	351	36.9%
京都府内 (精華町以外)	185	19.4%
奈良県内	63	6.6%
大阪府内	99	10.4%
通勤・通学していない	149	15.7%
その他	44	4.6%
無回答	61	6.4%
合計	952	100.0%

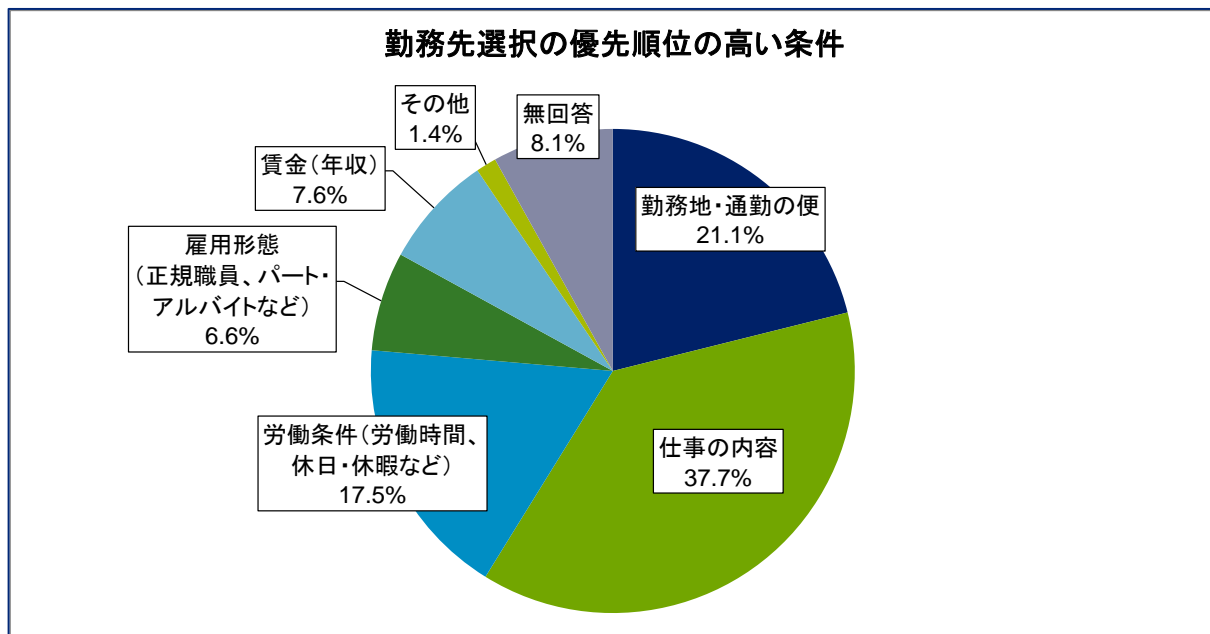
理想の勤務地調査の結果、「精華町内」と回答した人の割合が 36.9%と最も高いです。

「精華町内」「京都府内 (精華町以外)」「奈良県内」を合わせると、京都府と奈良県で 62.9%です。

② 勤務地選択の優先順位調査

問 21

あなたが勤務先を選ぶときの条件として優先順位が高い条件はどれですか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。



選択肢	回答数	割合
勤務地・通勤の便	201	21.1%
仕事の内容	359	37.7%
労働条件(労働時間、休日・休暇など)	167	17.5%
雇用形態(正規職員、パート・アルバイトなど)	63	6.6%
賃金(年収)	72	7.6%
その他	13	1.4%
無回答	77	8.1%
合計	952	100.0%

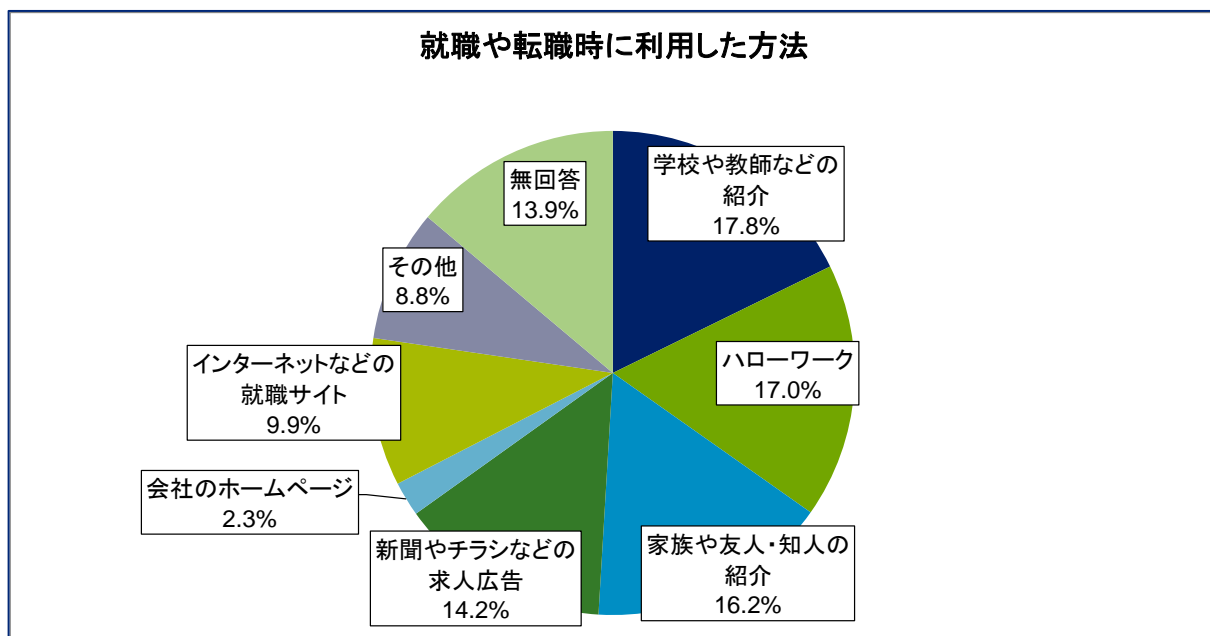
勤務地選択の優先順位調査の結果、「仕事の内容」と回答した人の割合が37.7%と最も高いです。次いで、「勤務地・通勤の便」が21.1%、「労働条件(労働時間、休日・休暇など)」が17.5%と続きます。

一方、賃金(年収)は7.6%と10%を下回っており、回答率では4番目です。

③ 就職や転職時の利用方法調査

問 22

あなたが就職や転職をするときに利用した方法はどれですか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。



選択肢	回答数	割合
学校や教師などの紹介	169	17.8%
ハローワーク	162	17.0%
家族や友人・知人の紹介	154	16.2%
新聞やチラシなどの求人広告	135	14.2%
会社のホームページ	22	2.3%
インターネットなどの就職サイト	94	9.9%
その他	84	8.8%
無回答	132	13.9%
合計	952	100.0%

就職や転職時の利用方法調査の結果、「学校や教師などの紹介」と回答した人の割合が17.8%と最も高いですが、「ハローワーク」が17.0%、「家族や友人・知人の紹介」が16.2%と近い数値で続きます。

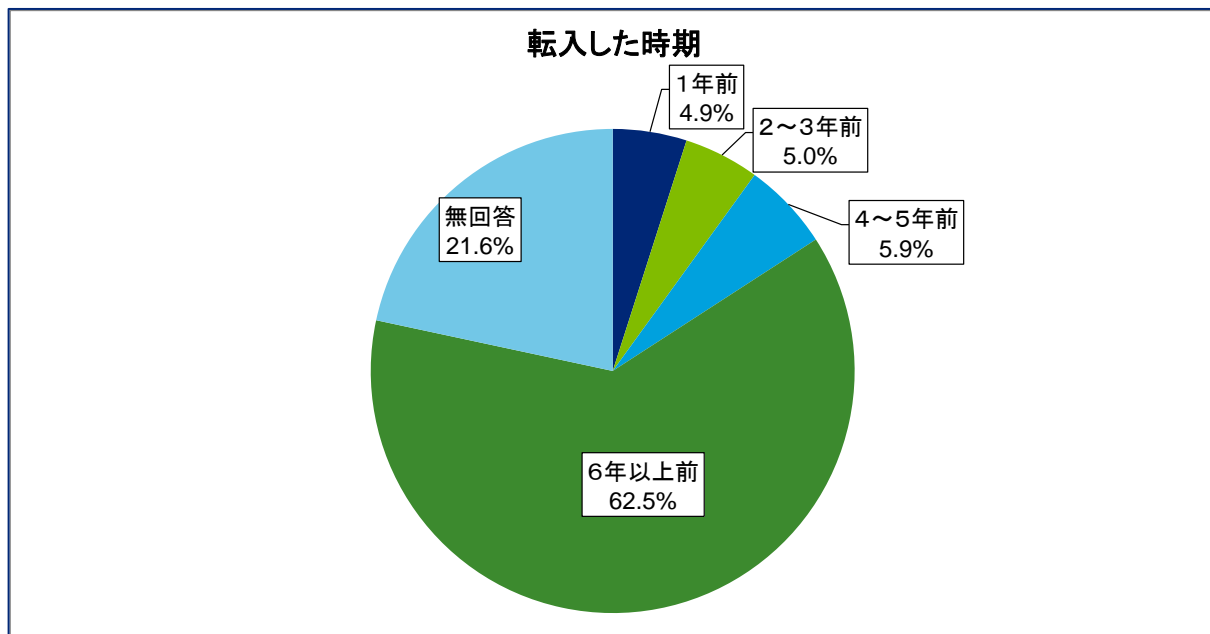
(9) 転入に関する調査結果

① 転入時期調査

問 23

精華町に転入した時期はいつ頃ですか。

※該当者は精華町に転入された人のみ



選択肢	回答数	割合
1年前	47	4.9%
2～3年前	48	5.0%
4～5年前	56	5.9%
6年以上前→自由意見へ	595	62.5%
無回答	206	21.6%
合計	952	100.0%

転入時期調査の結果、「6年以上前」と回答した人の割合が62.5%と最も高いです。

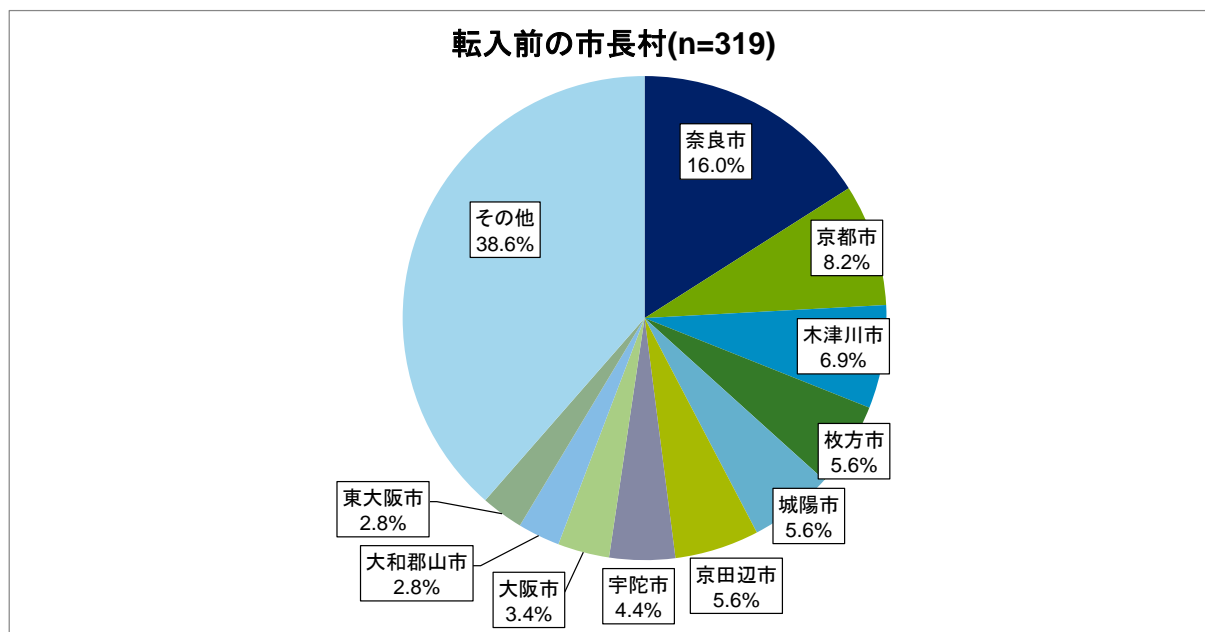
なお、転入が5年以内と回答した人の割合が15.8%です。

② 転入前の市町村調査

問 24

精華町に転入する前の市町村名をお答えください。

※該当者は問 23 で「1 年前」「2～3 年前」「4～5 年前」と回答した人のみ



	市長村名	回答数	割合
1	奈良市	51	16.0%
2	京都市	26	8.2%
3	木津川市	22	6.9%
4	枚方市	18	5.6%
5	城陽市	18	5.6%
6	京田辺市	18	5.6%
7	宇陀市	14	4.4%
8	大阪市	11	3.4%
9	大和郡山市	9	2.8%
9	東大阪市	9	2.8%
11	その他	123	38.6%
	合計	319	100.0%

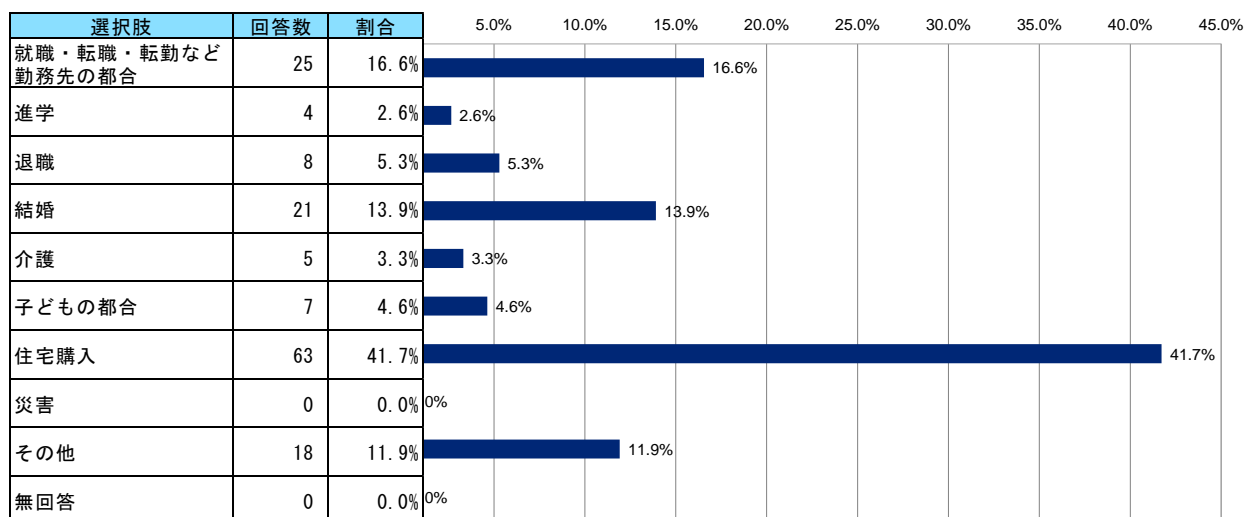
転入前の市町村調査、「奈良市」と回答した人の割合が 16.0%と最も高いです。次いで、「京都市」が 8.2%、「木津川市」が 6.9%、「枚方市」「城陽市」「京田辺市」が 5.6%と続きます。

③ 転入のきっかけ調査

問 25

精華町への転入のきっかけについて、主な理由として、あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

※該当者は問 23 で「1年前」「2～3年前」「4～5年前」と回答した人のみ



n = 151

転入のきっかけ調査の結果、「住宅購入」と回答した人の割合が **55.6%**と最も高いです。次いで、「就職・転職・転勤など勤務先の都合」が **20.5%**、「結婚」が **19.2%**と続きます。

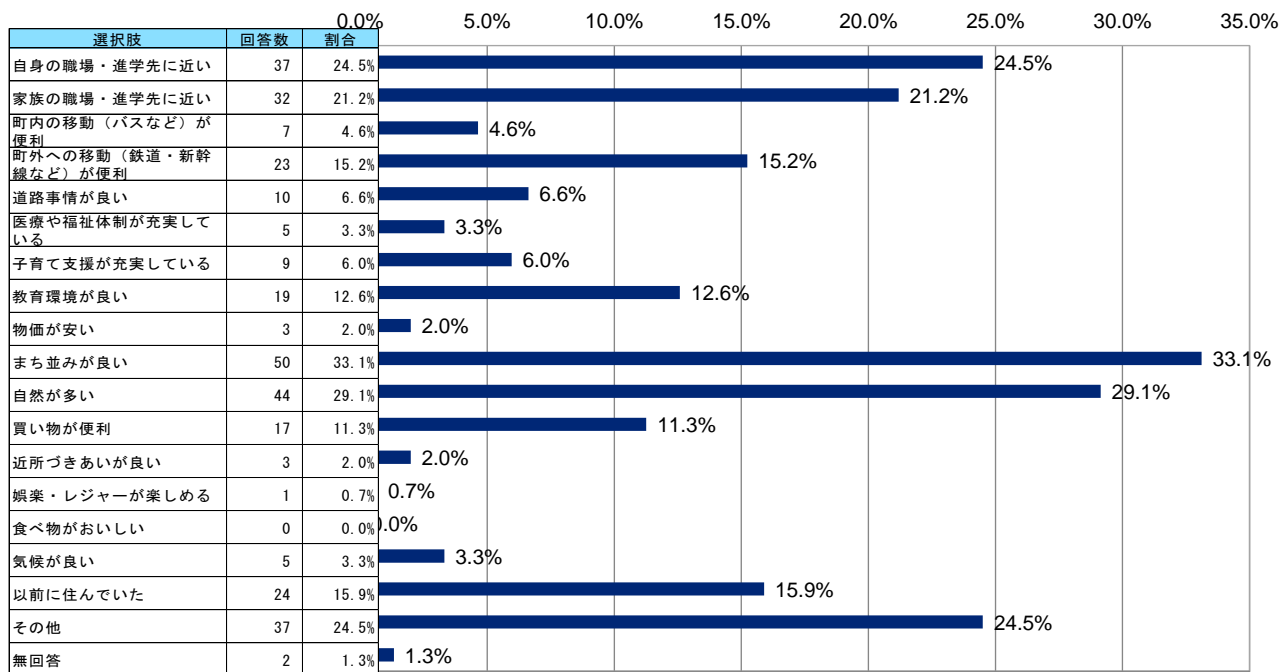
「住宅購入」と回答した人の割合と「就職・転職・転勤など勤務先の都合」と回答した人の割合の差は **25.1%**となっており、他の項目より非常に大きくなっています。

④ 転入の理由調査

問 26

精華町を転入先として選択した理由について、次の中から、3つまで選んで番号に○をつけてください。

※該当者は問 23 で「1 年前」「2～3 年前」「4～5 年前」と回答した人のみ



n = 151

転入の理由調査の結果、「まち並みが良い」と回答した人の割合が 41.7%と最も高いです。次いで、「自然が多い」が 39.7%、「自分の職場・進学先に近い」が 24.5%と続きます。

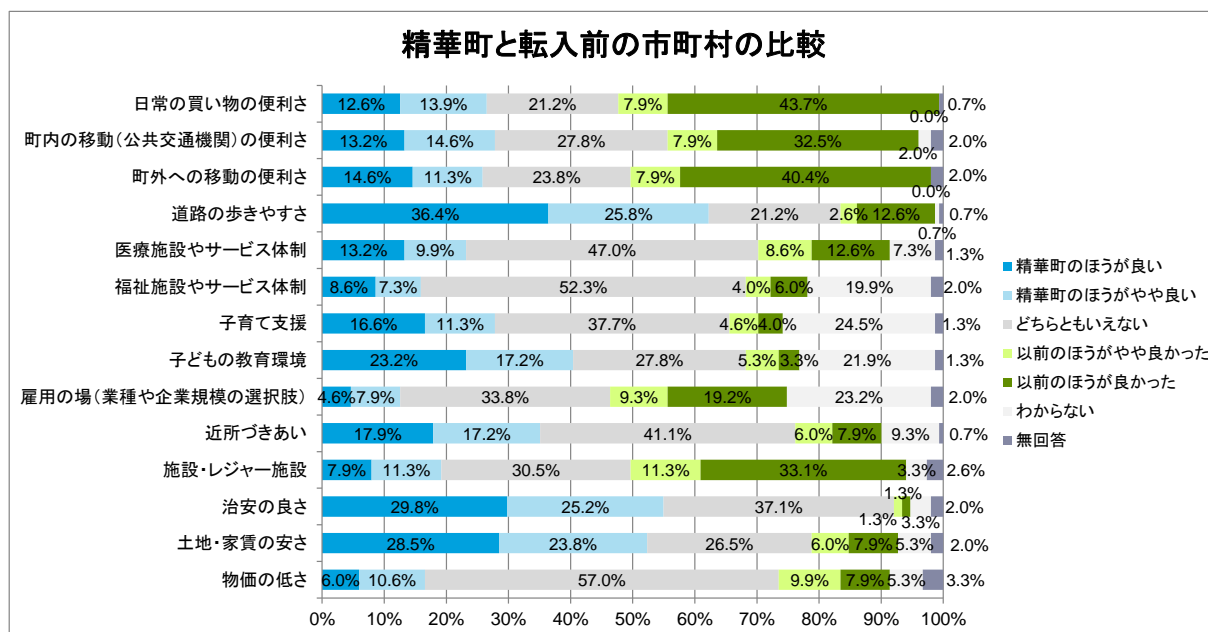
「まち並みが良い」と回答した人の割合と「自然が多い」と回答した人の割合の差は 2.0%と上位 2 項目の差は 5%以内に収まっています。

⑤ 転入前の市町村と精華町の比較調査

問 27

精華町と転入前の市町村で、以下の項目は良くなりましたか？それぞれあてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

※該当者は問 23 で「1年前」「2～3年前」「4～5年前」と回答した人のみ



転入前の市町村と精華町の比較調査の結果、「道路の歩きやすさ」「子どもの教育環境」「治安の良さ」「土地・家賃の安さ」は「精華町のほうが良い」と「精華町のほうがやや良い」を合わせると、40%を上回ります。

一方、「日常の買い物の便利さ」「町内の移動(公共交通機関)の便利さ」「町外への移動の便利さ」「施設・レジャー施設」は「以前のほうが良かった」「以前のほうがやや良かった」を合わせると40%を上回ります。

1 日常の買い物の便利さ

選択肢	回答数	割合
精華町のほうが良い	19	12.6%
精華町のほうがやや良い	21	13.9%
どちらともいえない	32	21.2%
以前のほうがやや良かった	12	7.9%
以前のほうが良かった	66	43.7%
わからない	0	0.0%
無回答	1	0.7%
合計	151	100.0%

2 町内の移動（公共交通機関）の便利さ

選択肢	回答数	割合
精華町のほうが良い	20	13.2%
精華町のほうがやや良い	22	14.6%
どちらともいえない	42	27.8%
以前のほうがやや良かった	12	7.9%
以前のほうが良かった	49	32.5%
わからない	3	2.0%
無回答	3	2.0%
合計	151	100.0%

3 町外への移動の便利さ

選択肢	回答数	割合
精華町のほうが良い	22	14.6%
精華町のほうがやや良い	17	11.3%
どちらともいえない	36	23.8%
以前のほうがやや良かった	12	7.9%
以前のほうが良かった	61	40.4%
わからない	0	0.0%
無回答	3	2.0%
合計	151	100.0%

4 道路の歩きやすさ

選択肢	回答数	割合
精華町のほうが良い	55	36.4%
精華町のほうがやや良い	39	25.8%
どちらともいえない	32	21.2%
以前のほうがやや良かった	4	2.6%
以前のほうが良かった	19	12.6%
わからない	1	0.7%
無回答	1	0.7%
合計	151	100.0%

5 医療施設やサービス体制

選択肢	回答数	割合
精華町のほうが良い	20	13.2%
精華町のほうがやや良い	15	9.9%
どちらともいえない	71	47.0%
以前のほうがやや良かった	13	8.6%
以前のほうが良かった	19	12.6%
わからない	11	7.3%
無回答	2	1.3%
合計	151	100.0%

6 福祉施設やサービス体制

選択肢	回答数	割合
精華町のほうが良い	13	8.6%
精華町のほうがやや良い	11	7.3%
どちらともいえない	79	52.3%
以前のほうがやや良かった	6	4.0%
以前のほうが良かった	9	6.0%
わからない	30	19.9%
無回答	3	2.0%
合計	151	100.0%

7 子育て支援

選択肢	回答数	割合
精華町のほうが良い	25	16.6%
精華町のほうがやや良い	17	11.3%
どちらともいえない	57	37.7%
以前のほうがやや良かった	7	4.6%
以前のほうが良かった	6	4.0%
わからない	37	24.5%
無回答	2	1.3%
合計	151	100.0%

8 子どもの教育環境

選択肢	回答数	割合
精華町のほうが良い	35	23.2%
精華町のほうがやや良い	26	17.2%
どちらともいえない	42	27.8%
以前のほうがやや良かった	8	5.3%
以前のほうが良かった	5	3.3%
わからない	33	21.9%
無回答	2	1.3%
合計	151	100.0%

9 雇用の場

選択肢	回答数	割合
精華町のほうが良い	7	4.6%
精華町のほうがやや良い	12	7.9%
どちらともいえない	51	33.8%
以前のほうがやや良かった	14	9.3%
以前のほうが良かった	29	19.2%
わからない	35	23.2%
無回答	3	2.0%
合計	151	100.0%

10 近所づきあい

選択肢	回答数	割合
精華町のほうが良い	27	17.9%
精華町のほうがやや良い	26	17.2%
どちらともいえない	62	41.1%
以前のほうがやや良かった	9	6.0%
以前のほうが良かった	12	7.9%
わからない	14	9.3%
無回答	1	0.7%
回答者	151	100.0%

11 施設・レジャー施設

選択肢	回答数	割合
精華町のほうが良い	12	7.9%
精華町のほうがやや良い	17	11.3%
どちらともいえない	46	30.5%
以前のほうがやや良かった	17	11.3%
以前のほうが良かった	50	33.1%
わからない	5	3.3%
無回答	4	2.6%
合計	151	100.0%

13 土地・家賃の安さ

選択肢	回答数	割合
精華町のほうが良い	43	28.5%
精華町のほうがやや良い	36	23.8%
どちらともいえない	40	26.5%
以前のほうがやや良かった	9	6.0%
以前のほうが良かった	12	7.9%
わからない	8	5.3%
無回答	3	2.0%
合計	151	100.0%

12 治安の良さ

選択肢	回答数	割合
精華町のほうが良い	45	29.8%
精華町のほうがやや良い	38	25.2%
どちらともいえない	56	37.1%
以前のほうがやや良かった	2	1.3%
以前のほうが良かった	2	1.3%
わからない	5	3.3%
無回答	3	2.0%
合計	151	100.0%

14 物価の低さ

選択肢	回答数	割合
精華町のほうが良い	9	6.0%
精華町のほうがやや良い	16	10.6%
どちらともいえない	86	57.0%
以前のほうがやや良かった	15	9.9%
以前のほうが良かった	12	7.9%
わからない	8	5.3%
無回答	5	3.3%
合計	151	100.0%

(10) 自由意見

下表は、アンケート調査票の自由意見欄に記入された内容を精華町第5次総合計画で策定した施策分類別にまとめたものです。

今回のアンケート調査では、332名（全体の34.9%）からご意見をいただきました。なお、複数の分野にわたる意見については重複カウントしているため、意見総数と一致しません。

施策		件数	割合	
学研都市のまちづくり	けいはんな学研都市	学研都市の推進	27	4.5%
		企業誘致	36	6.0%
	産業	農業	13	2.2%
		商工・サービス業	58	9.7%
		観光	5	0.8%
	まちなみ	市街地形成	32	5.4%
		景観	25	4.2%
	道路・公共交通	道路	16	2.7%
		公共交通	56	9.4%
	住環境	上水道	2	0.3%
下水道		1	0.2%	
住宅		17	2.8%	
暮らしのまちづくり	健康・医療	健康づくり	3	0.5%
		地域医療・生活衛生	1	0.2%
		医療・保健	13	2.2%
	児童福祉	子育て環境・子育て支援	53	8.9%
	高齢・障がい福祉	高齢福祉	29	4.8%
		障がい福祉	2	0.3%
	コミュニティー・地域福祉	コミュニティー	23	3.8%
		地域福祉	2	0.3%
	防災・交通安全	地域防災・消防	1	0.2%
		浸水対策	1	0.2%
交通安全・防犯		13	2.2%	
環境のまちづくり	学校教育	教育振興	8	1.3%
		教育環境	15	2.5%
	生涯学習	歴史	1	0.2%
		文化活動	15	2.5%
		スポーツ活動	5	0.8%
	人権尊重と男女共同参画	人権	0	0.0%
		男女共同参画	0	0.0%
		国際交流・平和	1	0.2%
	環境共生	環境保全	3	0.5%
		資源・エネルギー	4	0.7%
情報化	地域情報化	11	1.8%	
	図書館	11	1.8%	
協働のまちづくり	住民協働	交流連携	5	0.8%
		公共的活動支援	1	0.2%
	行財政運営	行政経営	39	6.5%
		窓口サービス	7	1.2%
		広域連携	2	0.3%
		その他	41	6.9%
合計		598	100.0%	

【学研都市の推進 27件】

「学研都市のPR促進」「学研都市に集積している高度な施設の利活用」「私のしごと館・国立国会図書館の利活用等」に関する意見などがありました。

【企業誘致 36件】

「人口減少の抑制や若者の定住のため企業誘致の促進」「学研都市として立地している企業への就業機会の増加等」に関する意見などがありました。

【農業 13件】

「担い手の育成」「いちご狩りをはじめとした観光農業の振興（看板の見直し）」に関する意見などがありました。

【商工・サービス業 58件】

「スーパーなどの商業施設の必要性に関すること」「車がないと日常の買い物が不便であること（交通弱者の買い物対策）」「大型商業施設やレジャー施設等の必要性」に関する意見などがありました。

【観光 5件】

「交流人口の促進を図るための具体的な事業等の必要性」に関する意見などがありました。

【市街地形成 32件】

「学研都市を活かしたまちづくりの必要性」「町内の地域間の開発状況の違いに関する意見」「祝園駅前・駅周辺の開発」に関する意見などがありました。

【景観 25件】

「精華町の街並みのすばらしさ」「町内の景観が変化していることへの不安」に関する意見などがありました。

【道路 16件】

町内各所の道路整備に関する意見などがありました。

【公共交通 56件】

「近鉄けいはんな線の延伸」「町内のバス利便性向上」「老後（車を運転しなくなった後）の交通環境への不安」に関する意見などがありました。

【上水道 2件】

水道料金に対する意見がありました。

【下水道 1件】

下水道料金に対する意見がありました。

【住宅 17件】

「若者が定住するための住宅施策の促進」「空き家対策の必要性」に関する意見などがありました。

【健康づくり 3件】

「健康づくりをする場の確保」に関する意見などがありました。

【地域医療・生活衛生 1件】

健康診断の無料化に関する意見がありました。

【医療・保健 13件】

「医療機関の充実や小児科の不足」に関する意見などがありました。

【子育て環境・子育て支援 53件】

「幼稚園の必要性」「ファミリーサポートセンターの必要性」「特別保育の必要性」「経済的援助の充実および見直し」「精華町の子育て環境や子育て支援が充実していることに対する肯定的な意見」などがありました。

【高齢福祉 29件】

「買い物対策の」「高齢化するコミュニティへの対策」「高齢者の社会参画に」に関する意見などがありました。

【障がい福祉 2件】

障がい者にとって住みよいまちづくりを継続してほしいとの意見がありました。

【コミュニティー 23件】

「地域コミュニティづくりの重要性」「地域コミュニティへの参画の難しさ」「公民館等施設の充実」に関する意見などがありました。

【地域福祉 2件】

地域福祉の充実のために高齢者の積極的な参画を促す意見がありました。

【地域防災・消防 1件】

防災対策の充実を望む意見がありました。

【浸水対策 1件】

河川改修計画の早期実行に関する意見がありました。

【交通安全・防犯 13件】

「交通に関する危険個所の解消」「精華町の治安の良さ」に関する意見などがありました。

【教育振興 8件】

義務教育の充実に関する意見などがありました。

【教育環境 15件】

「中学校給食の開始」「小中学生のいる世帯への経済的支援」に関する意見などがありました。

【歴史 1件】

郷土史や伝統文化の振興に関する意見がありました。

【文化活動 15件】

「学研都市を活かした文化活動の必要性」「若者向けのイベントの促進」「様々な地域住民や多世代交流ができるイベントの促進」に関する意見などがありました。

【スポーツ活動 5件】

スポーツ活動ができる場の確保に関する意見などがありました。

【国際交流・平和 1件】

国際交流イベントの促進に関する意見がありました。

【環境保全 3件】

精華町のきれいな自然環境を保全してほしいとの意見がありました。

【資源・エネルギー 4件】

再生可能エネルギー対策の促進に関する意見などがありました。

【地域情報化 11件】

「インターネットを活用した広報の一層の促進」「積極的な精華町のシティプロモーションの必要性」に関する意見などがありました。

【図書館 11件】

図書館機能の充実を求める意見などがありました。

【交流連携 5件】

「学研都市に立地する企業との連携促進」に関する意見などがありました。

【公共的活動支援 1件】

ボランティア活動の推進に関する意見がありました。

【行政経営 39件】

「税金が高い」「アンケート結果の有効活用」「精華町独自の施策の推進」「市制移行の要望」に関する意見などがありました。

【窓口サービス 7件】

「役場職員の対応への満足」「役場職員の多さ」に関する意見などがありました。

【広域連携 2件】

「合併に関する検討や近隣自治体との連携促進」に関する意見などがありました。

【その他 41件】

「今後のまちづくりへの期待」「人口減少社会に対応した町政運営への要望」に関する意見などがありました。

3 資料

- 「地方創生に関するアンケート調査」調査票

以上